

市町村地域課題①

自治体名	美里町
地域課題の名称	移住定住に係る地域課題の掘り起こし及び課題解決の取り組み検討
地域課題を抱える地域	美里町全域
解決したい課題 (具体的内容)	少子高齢化及び人口減少により年々地域の活力が失われていく中で、持続可能な町づくりを行う取り組みを行っていく必要がある。交流人口や関係人口、移住者を増やすため、産業連携協議会を中心に観光メニューの開発などに地道に取り組んでいるが、移住定住までつながるような取組を行う必要がある。
課題の背景	高齢化と就職・就学を機に転出する若者が後を絶たず、地域の担い手不足が危機的な状況となっており、産業の衰退や伝統行事・イベントの取りやめなど、地域コミュニティの維持にも影響が出ている。 また、町民の移住者の受入れに対する意識や、増加している空き家に対する問題意識など、現状の課題や問題に対する受け入れ側の意識改革が必要である。
求める解決の方向性、 将来像	ヒアリングやWSを行い地域住民の抱える課題などを発掘する。また、観光客など町外の人材から美里町への印象などを聞き取りそれらの意見をベースに、関係人口創出や移住者の増加に繋がる課題解決に向けた取組を行う中で、外部人材としてアドバイス等をいただきたい。
提供可能な資料・データ・環境等	<ul style="list-style-type: none">・移住者数情報・移住関連の施策等の情報・空き家バンクに関する資料

市町村地域課題②	
自治体名	南阿蘇村
地域課題の名称	空き家管理・活用に係る物件所有者への啓発活動
地域課題を抱える地域	村内全域
解決したい課題 (具体的内容)	空き家の所有者に対し、適正な管理を行うこと、空き家を活用することについて考える、行動するように効果的に働きかけたい
課題の背景	<p>南阿蘇村は熊本地震や住民の高齢化、人口減少により空き家が増えつつあります。</p> <p>しかし、それら空き家を売るでも貸すでもなく、また解体することもないまま5年、10年、あるいはそれ以上の長期間そのままにして、空き家が痛んでしまったり、管理不全空き家となったりという状況がしばしば見られます。理由としては次のような事例がある模様です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有者が遠隔地にいる。 ・荷物や仏壇が宅内に残っている。 ・年に数回程度親族で集まる。 ・施設に入った親が所有者で、戻る見込みはないものの、存命なので手をだしにくい。 ・近所の人から、まだそこまで(売るとか貸すとか)しなくても良いのではと言われた。 ・お金や手間がかかる。 <p>家は住んで管理する人間がいなければ早々に痛んでいくことが多いので、物件所有者に対し、空き家の適正な管理及び活用を行うよう働きかけをしたいと考えています。</p> <p>現在、固定資産税の通知書に空き家空き地バンク登録の案内チラシを同封するといった方法を取っていますが、十分な意識付けができていない状況です。</p>
求める解決の方向性、将来像	どのような働きかけの方法があるかの提案
提供可能な資料・データ・環境等	配布チラシ、空き家空き地バンク登録データなど